

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田西部地域協議会
2 日時	平成30年2月6日 午後7時00分から午後8時05分まで
3 会場	西部公民館 まちづくり活動拠点室
4 出席者	五十嵐委員、石塚委員、小市委員、渋谷委員、清水治委員、高橋委員、田畑冴子委員、田畑裕康委員、塚本委員、堀内委員、宮崎委員、宮下委員、向山委員、母袋委員、山崎委員、横関委員
5 市側出席者	(事務局) 滝沢地域振興政策幹、小林地域内分権推進担当係長、中部地域内分権推進担当主査、樋口地域内分権推進担当主事 (スポーツ推進課) 池田スポーツ推進課長、小林課長補佐兼スポーツ施設係長
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成30年2月20日

協議事項等

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議事項

(1) スポーツ施設設備計画について

- ・スポーツ推進課から計画策定の背景、意見聴取の内容について説明
- ・以下、質疑応答

(会長) 施設の一次評価とスポーツ推進課の考え方を対比しながら意見や提案をいただきたいということだが、具体的な計画が分からない。

(スポーツ推進課) 今回の計画は、市内全体にある132のスポーツ施設それぞれについて、将来的にはどうしていくかを定める段階の計画。将来的に市の財政状況も右肩下がりになっていく中、現在ある132の施設をそのまま維持していく事は困難であるということが背景としてある。例えば城跡公園体育館について、一次評価では耐震改修になっているが、移転をするという方向で進めていく。その場所や規模に関しては、今回の計画の後に、どうしていくのかを計画することになる。

(委員) 上田市の公共施設ではサントミュージアムが評価できる。東京からも来訪が結構あると聞いている。なぜ来るかというと、駅から歩いて行けるから。土日には、大会等で城跡公園体育館まで歩く中高生を見かける。そのような利便性がこの評価の中に入っていないことでバランスが崩れているように感じる。お金をかけて施設を整備しても、利便性がなければ意味がないと思う。

(スポーツ推進課) 場所等については次の段階の計画となる。今回は方向性として施設を残すか廃止にするのかという計画になる。方向性が決まった後に、場所や利用者の見込みなどを考えていきたい。

(委員) 上田市スポーツ施設整備基本構想の中に利便性という視点を盛り込まないと、客観的な評価にはつながらないと思う。

(委員) 一次評価は誰が何を基に決定したのか。また、優と劣の評価でなく、優・良・可・不可というように段階的な評価をした方が良いと思うがどうなのか。

(スポーツ推進課) スポーツ庁が示したガイドラインに基づいた評価であり、優か劣どちらかで判断することになっている。安全性・機能性について個別項目についてA B C Dで評価をすることになっている。景観、築数など細かい評価基準により総合的に優か劣か判断をしている。劣と評価された施設については、経済性からも評価することになっている。全てに評価基準・項目があり、A B C D判定から最終的には優・劣か耐震性があるかないかを判断している。この評価は、業者に委託をして行ったもの。実際に現地へ行き判定した。

(委員) 評価についてはよく分かったが、利用者の推計があればより説得力がある。

(委員) 浄化センターのマレットゴルフ場について、所管課の判断に委ねるとのことだが、簡単に廃止にしてしまうと信頼関係を裏切ることになってしまうため、慎重に判断してほしい。

(委員) 行政として取組むスタンスは何かということを書類に盛り込む必要があると思う。

(委員) 意見を記入するということが、地域協議会の意見はどのようにまとめるのか。

(会長) 用紙にそれぞれ意見をご記入いただき、出されたものを事務局でまとめ、皆様にフィードバックして異論がなければ市へ提出するという流れを予定している。

(委員) 耐震改修をしていない施設もあるが、市民の安全安心を第一に考え、優先順位を大切にしてほしい。また、所管課の判断に委ねるとあるが、任せるのではなく市全体として考えていただきたい。

(会長) そのような意見もまとめて用紙に記入し、提出いただきたい。

(2) その他

・特になし

4 その他

・事務局から、上田市防災講座及び第10回生涯学習シンポジウム開催について案内。

5 閉会